

令和4年度 第1回近江の地場産業および近江の地場製品の 振興に関する施策推進協議会における主な意見

日時 令和4年9月8日(木)

10:30～12:00

場所 オンライン会議

1 議題

- (1) 令和3年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況について
- (2) 令和4年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策について

2 主な意見

議題(1) 令和3年度近江の地場産業および近江の地場製品の振興に関する施策の実施状況について

・事務局より資料1に基づき報告と説明

・資料1「施策実施状況」において、実施した事業に対して事業者の応募数や採択の記載はあるのか。

→記載はない。

・海外展開やクラウドファンディング、おもてなし補助金などの事業について、事業者の応募数と採択数は？また、応募数と採択率から事業の周知度と事業内容に対する反応を分析し、翌年度の事業に反映してほしい。

→どの事業も目標にしていた参加者数は達成している状況。海外展開事業については、コロナの影響で渡航ができなくなるということがあったが、対応し実施した。今年度についても昨年度の状況を踏まえ、オンラインを活用するなどコロナ禍でも実施できるよう、事業内容の改善も行っている。

・応募者全員が参加できている状況では人気がない事業ということではないか。周知の不足もあるが、何か理由があるはずなので、リサーチして事業を改善し、定員の倍の申請があるくらいになってほしい。

議題（２）令和４年度近江の地場産業および近江の地場産品の振興に関する施策について

- ・事務局および観光振興局担当より資料２に基づき報告と説明
- ・県としてやる意義、広域性を打ち出してほしい。ここ滋賀も事業者が今年度変わったので、全国への発信を積極的にしてほしい。
- ・海外で成功するためには、個々の事業者や組合では難しい。明治時代は、大使館が収集した海外の地元ニーズをもとに事業者は生産していたことから、そういった支援体制があるといい。
- ・シガリズム、おもてなし事業、若年者に対する教育、技術面では公設試を活用など、事業者に対する支援体制は整っているが、それをどう統合して利用価値を見出していくのか、知恵をしばる必要がある。
- ・補助金が多くあり、募集が終わってから存在を知ることもあるので、県が実施している補助金の全体像が分かるものが個々の事業者の行き渡るようにしてほしい。県のHPでわかるのか？
→補助金一覧のようなものはない。今後、HPの掲載や、紙媒体での情報提供などしたい。
- ・ものを作ることにする補助金はあるが、販売することの難しさを感じていることから販売に対する支援がほしい。
- ・販路拡大が大変。多くの展示会に出ることで販路は拡大できる。また、小さなブースでは目立たない、他県のように県の大きなブースで展示するなどしてほしい。販路拡大は税収につながるのだから、手厚く支援してほしい。
- ・シガリズムのメニューを見て、滋賀にはこんなに多くの魅力的なコンテンツがあるのを知った。まだ県内外での認知度が低く、一般消費者は活字を見ない時代なので、3分間くらいの動画をつくり、その中に利用者の声を入れることでイメージとして体験したくなるような流れを作ってはどうか。
- ・シガリズムは、調査の段階からプレスを同行するなど、プレスを巻き込んではどうか。

- ここ滋賀が第二期になり、期待は大きい。滋賀県ゆかりの運営事業者に代わった。シガリズムを全国に発信する方法として、ここ滋賀でPRしてはどうか。また、ここ滋賀はスペースが限られているが、ここ滋賀以外、首都圏での催事をしてほしい。